

情報通信審議会 情報通信技術分科会
放送システム委員会（第 3 3 回） 議事概要（案）

1 日 時

平成 2 4 年 1 2 月 1 2 日（水） 1 4 時 0 0 分～1 6 時 0 0 分

2 場 所

総務省 8 階 第 1 特別会議室

3 議 題

- （１）意見の聴取について
- （２）放送事業用無線局検討作業班報告について
- （３）放送システム委員会報告（案）について
- （４）その他

4 出席者（順不同、敬称略）

【構成員】伊東主査（東京理科大学）、都竹主査代理（名城大学）、浅見（日本 C A T V 技術協会）、伊丹（東京理科大学）、高田（東京工業大学大学院）、野田（日本ケーブルラボ）、松井（電波産業会）、村山（岩手県立大学）

【事務局】野崎、向井、廣江、濱村（情報流通行政局放送技術課）

5 配付資料

資料 3 3 - 1 放送システム委員会（第 3 2 回）議事概要

資料 3 3 - 2 「放送事業用無線局の高度化のための技術的条件」についての意見（松尾様ご提出）

資料 3 3 - 3 「放送事業用無線局の高度化のための技術的条件」についての意見（渡辺様ご提出）

資料 3 3 - 4 「放送事業用無線局の高度化のための技術的条件」についての意見（金陵電機(株)様ご提出）

参考資料 1 報道発表資料（「放送事業用無線局の高度化のための技術的条件」についての関係者からの意見の聴取）

（意見聴取後の追加資料）

資料 3 3 - 5 放送事業用無線局検討作業班 一部報告（概要）

資料 3 3 - 6 放送事業用無線局検討作業班 一部報告

資料 3 3 - 7 放送システム委員会報告（案）

6 議事概要

議事次第に沿って、以下の審議を行った。

(1) 意見の聴取について

事務局より、技術的条件の意見聴取の希望について10月16日から11月6日まで募集を行ったところ、渡辺氏、松尾氏及び金陵電機株式会社の3者から申し出があった旨報告され、このうち松尾氏が欠席し、渡辺氏及び金陵電機株式会社の2者については、当委員会にて意見陳述を行う旨説明があった。

本日欠席されている松尾氏の意見について、資料33-2に基づいて事務局より紹介された。

次に、資料33-4に基づいて、金陵電機株式会社より意見の陳述が行われ、主に以下の質疑が行われた。

○ 現在、どの程度の機器が使用されているのか把握されているのか。(伊東主査)

→ 1. 2GHz帯において当社が生産している台数としては累計3千台である。(金陵電機株式会社)

○ 過去に妨害によって損害を受けた事例などはあるのか。(高田委員)

→ 1. 2GHz帯を使用するものではないが、過去に船舶から荷を下ろす作業を行っている際に妨害があり、使用場所の占有時間を超過し数千万円の損害が発生した事例があった。(金陵電機株式会社)

次に、資料33-3に基づいて、渡辺氏より意見の陳述が行われたが、特段、質疑は行われなかった。

以上、3件の意見陳述が行われたことから、伊東主査より、この後議題として予定されている放送事業用無線局検討作業班報告及び放送システム委員会報告(案)の取り扱いについて放送事業用無線局検討作業班の高田主任と協議するため、30分休会したい旨の提案があり、これを了承した。

(2) 放送事業用無線局検討作業班報告について

15時10分より会議は再開され、追加で資料33-5～7が新たに配布された。

続いて資料33-5～6に基づいて、高田主任より放送事業用無線局検討作業班における検討結果の報告が行われ、主に以下の質疑が行われた。

○ 資料33-5の3ページの表中で説明されている800MHz帯における周波数の許容偏差に比較して、同10ページで説明されている新周波数帯における周波数

の許容偏差は甘くなっているように見受けられるが、これは帯域によって値が違うという理解でよいか。（伊東主査）

→ 800MHz帯のF P Uについては、技術基準が定められていないため、ARIBの基準(1.5×10^{-6})を記載したが、無線設備規則においては、800MHz帯F P Uの周波数の許容偏差は、 20×10^{-6} となっている。（事務局）

（３）放送システム委員会報告（案）について

資料３３－７に基づいて、事務局より放送システム委員会報告（案）の説明が行われた。

伊東主査より当該報告（案）について、１２月１４日（金）までに意見があれば事務局まで連絡することとともに、その後の修正等については主査一任としたい旨の説明があり、了承された。事務局より、今後当該報告（案）について１２月１７日頃より３０日間パブリックコメントを募集する予定である旨説明がなされた。

（４）その他

事務局より、次回放送システム委員会の日程については１月１８日（金）１４時から開催される旨を伝えた。

以上